

懐かしい写真



年代未詳

中央の千力丸は、茂木と大崎・千々間に道路ができる前、人や物資の輸送を行っていた3隻の旧町内交通船の中の一隻である。

茂木港での写真で、後方は潮見崎、右後方には朝日館（映画館）の看板が写っている。

また、写真上部の左の木立に潮見崎観音堂があり、その右手に斜面に白く移っているのは潮見荘（旧観月）の渡り廊下である。



撮影者：マンスフェルト 明治初期
画像提供：長崎大学附属図書館

片町付近かと思われるが、同じ石の塀は現存していない。



茂木道 年代未詳 長崎大学附属図書館所蔵

絵葉書写真で、右下に「Mogi Road, Nagasaki.」とある。現在地は特定できていない。



(NO. 2) BAMBOOS AT MOGI ROAD, NAGASAKI. 林竹上田道吉木茂崎長
年代未詳 長崎大学附属図書館所蔵

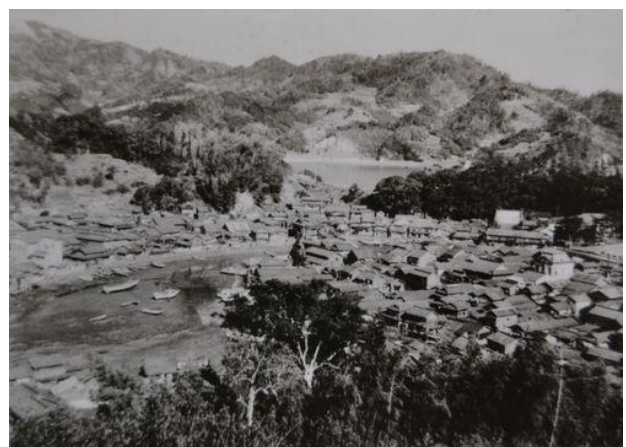
大正初期の絵葉書写真で、「長崎茂木街道田上竹林」とある。現在地は特定できていない。



年代未詳 ビーチホテル



年代未詳 ビーチホテル



撮影者：宮本忠彦 年代未詳 茂木の町並み

写真右にビーチホテル、移転前の十八銀行茂木支店が見える。



撮影者：前田利雄 昭和31年1月8日

片町の石の御前近くから見た雪化粧の町並み。中央に見える橋は弁天橋である。



撮影者：前田歳子 年代未詳

片町の若菜川。橋は昭和61年に架け替えられる前の若菜橋。



昭和36年11月30日

旧茂木街道を整備したときの、道路開通記念。



年代未詳

昭和30年代の茂木・宮摺間の道路の立石付近。



撮影者：宮本忠彦 平成元年6月26日早朝

漁から戻った漁船。



撮影者：宮本忠彦 平成元年6月24日

川まつり。潮の引いた弁天橋側（下流側）に青竹を組みお祓いを受けている。

裳着神社のくんち



年代未詳 くんち



年代未詳 くんち



年代未詳 くんち



年代未詳 くんち



年代未詳 くんち



年代未詳 くんち

裳着神社のくんちは、10月18・19日の両日行われていたが、近年は10月18・19日前後の土日曜日に行われている。

初日のおくだりは、神輿が午後2時に裳着神社を出発し、若菜橋を渡り橋口の商店街を通り、玉台寺の前から新田を回り茂木バス停前のお旅所までの行程で行われ、後日のおのぼりは、神輿が午後3時にお旅所を出発し、裳着神社までおくだりと逆の行程で行われる。

神輿は1体で、神輿を担ぐのは、片町、南川・河内、新田、寺下、中、橋口の各地区が交代で当番町となり6年に1回廻ってくる。当番町は、神輿の担ぎ手16名、鉾4名、天狗1名の21人の人数を揃える。

くんちでは、地域や商工会、小中学校の児童生徒などの奉納踊りがあり、お旅所周辺には出店が出て賑わっている。

枇杷の収穫・出荷



年代未詳 枇杷の収穫



年代未詳 枇杷の選果



年代未詳 枇杷の選果



年代未詳 枇杷の選果



年代未詳 枇杷の運搬の様子



年代未詳 選果した枇杷



年代未詳 枇杷の積込み



年代未詳 市場の様子



昭和 20 年代 枇杷の積み込み



年代未詳 市場



年代未詳 市場



年代未詳 枇杷の加工場

町内交通船

旧茂木町は、海岸線に沿って南北に細長く、現在の県道ができるまでは、狭く急峻な道であったため、人や物資の町内移動には、船が用いられていた。



年代未詳 千力丸とかもめ丸
両船とも、千々、大崎と茂木間を結ぶ交通船。



年代未詳 千力丸
茂木港の千力丸。後方は赤崎鼻。



年代未詳 千力丸
千力丸の新船就航祝い。



年代未詳 ちどり丸



年代未詳 千力丸



昭和30年代 浦浜海岸

浦浜海岸は、大崎と千々の間にあり、ここには湧き水があり、よくキャンプが行われていた。当時、ここに行くには大崎からは歩いて行けたが、千々からは舟で行っていた。左写真の後方の小舟は、千々から来るのに使った舟である。



年代未詳 千々の弁天社の相撲大会